

『第5次原村総合計画』の策定スケジュール

第5次原村総合計画の策定にむけて

第2回ワークショップ資料

平成27年2月18日

『ワークショップの日程』

第1回ワークショップ 平成27年2月4日(水) 19:00~
 テーマ :「第5次原村総合計画への取り組みの主旨など」、「原村の課題・まちづくりなどの方向性」について

第2回ワークショップ 平成27年2月18日(水) 19:00~
 テーマ :「自然環境・生活環境」について

第3回ワークショップ 平成27年2月25日(水) 19:00~
 テーマ :「教育・文化・健康福祉」について

第4回ワークショップ 平成27年3月4日(水) 19:00~
 テーマ :「産業振興」について

第5回ワークショップ 平成27年3月17日(火) 19:00~
 テーマ :「村づくり」(村づくりの理念、将来像、施策について)

		主な作業内容	住 民	原村役場
平成27年	2月	上旬	○村づくりの将来構想検討	
		中旬		○ワークショップ(2/18)
		下旬		○ワークショップ(2/25)
	3月	上旬		○ワークショップ(3/4)
		中旬		○ワークショップ(3/17)
		下旬		
	4月	上旬	○計画原案の作成	
		中旬		○策定委員会
		下旬		○専門部会
	5月	上旬		
		中旬		
		下旬		○専門部会
6月	上旬			
	中旬		○策定委員会	
	下旬			
7月	上旬		○住民説明会	
	中旬			
	下旬		○専門部会	
8月	上旬			
	中旬		○策定委員会	
	下旬		○専門部会	
9月	上旬			
	中旬		○策定委員会	
	下旬	○計画案の作成		
10月	上旬		○住民説明会	
	中旬			
	下旬			
11月	上旬			
	中旬		○審議会	
	下旬			
12月	上旬		○パブリックコメント(30日)	
	中旬			
	下旬			
平成28年	1月	上旬		
		中旬		○審議会
		下旬		
	2月	上旬	○計画決定手続き	
		中旬		○審議会
		下旬		
	3月	上旬		○3月 原村議会へ上程予定
	中旬	○計画の決定予定		
	下旬	○計画の公表予定		
4月以降		新たな村づくりスタート		

※スケジュールの策定作業の進捗により変わることがあります。

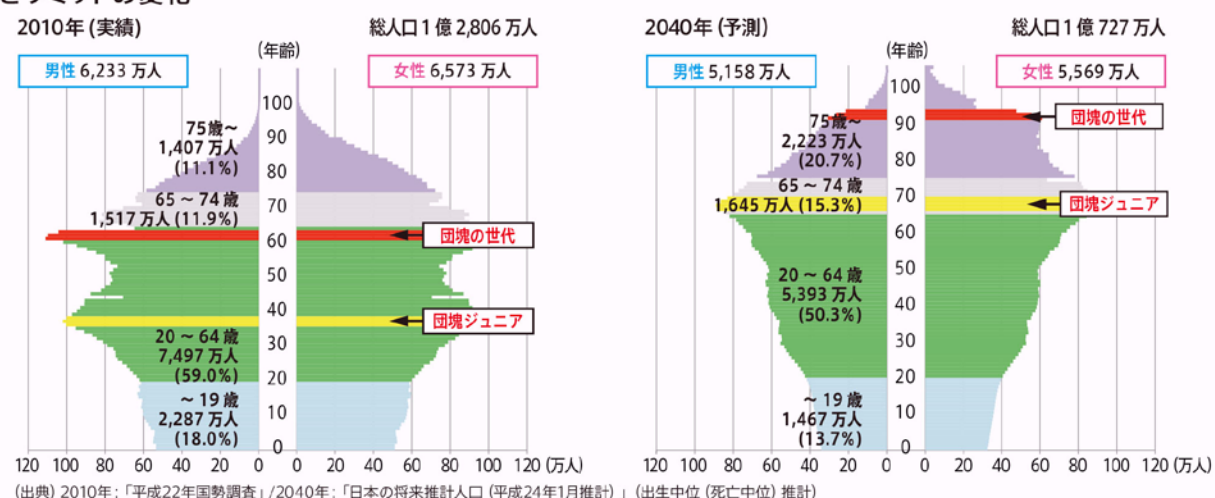
『第5次原村総合計画』策定の背景

『まち・ひと・しごと創生』、日本及び原村の将来を見据えた大きな課題

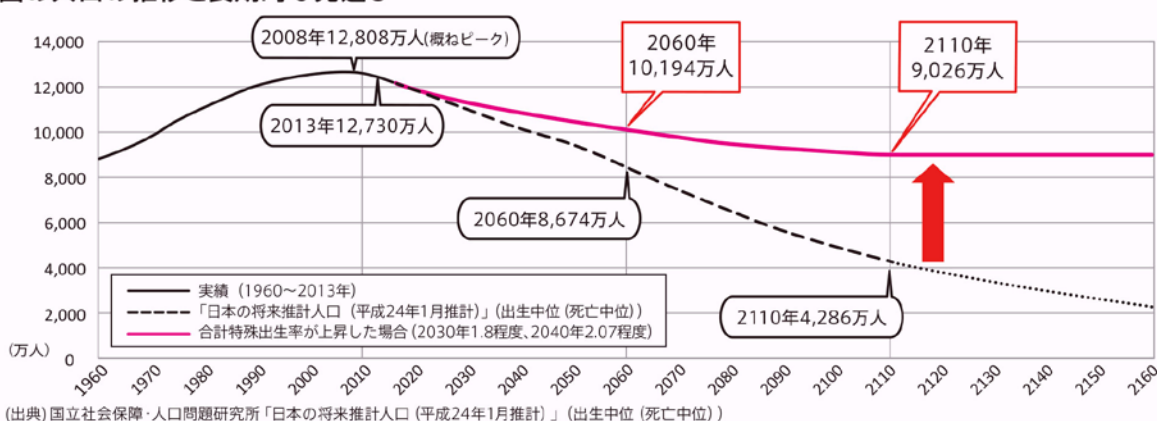
(1) まち・ひと・しごと創生が目指すもの

- 2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。
- 人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。
- 国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。
- まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

人口ピラミッドの変化



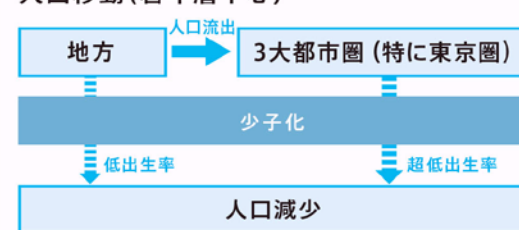
我が国の人口の推移と長期的な見通し



(2) なぜ、まち・ひと・しごと創生か

- 人口減少問題は地域によって状況や原因が異なる。
- 大都市における超低出生率・地方における都市への人口流出+低出生率が日本全体の人口減少につながっている。
- 東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・子育て希望を実現することにより人口減少を克服。
- 地域特性に応じた処方せんが必要。

人口移動(若年層中心)



『第5次原村総合計画』と『原村版総合戦略』を策定し、村づくりを進めます。

I. 総合戦略の基本的な考え方

1. 人口減少と地域経済縮小の克服

- 地方は、人口減少を契機に、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラルに陥るリスクが高い。
- 人口減少克服・地方創生のためには、3つの基本的視点から取り組むことが重要。
 - ①「東京一極集中」の是正
 - ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現、
 - ③地域の特性に即した地域課題の解決

2. まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

◎「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立するとともに、その好循環を支える「まち」に活力を取り戻す。

①しごとの創生

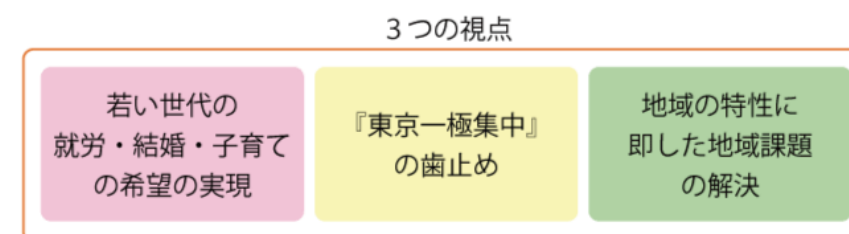
- ・若い世代が安心して働ける「相応の賃金、安定した雇用形態、やりがいのあるしごと」という「雇用の質」を重視した取組が重要。

②ひとの創生

- ・地方への新しい人の流れをつくるため、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する。
- ・安心して結婚・出産・子育てができるよう、切れ目ない支援を実現する。

③まちの創生

- ・地方で安心して暮らせるよう、中山間地域等、地方都市、大都市圏等の各地域の特性に即して課題を解決する。



「しごと」と「ひと」の好循環を実現するための、4つの目標

- ①地方における安定的な雇用を創出
- ②地方への新しいひとの流れをつくる
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

魅力あふれる地方を創生

参考：まち・ひと・しごと創生本部(www.kantei.go.jp/jp/headline/chihou_sousei/)

『今日のタイムスケジュール』

次	第	目安時間
1. 開 会		19:00
・ ご挨拶 ・ 前回のおさらい ・ 本ワークショップの作業説明		5分 10~15分
2. グループ別作業		19:20
・ 「自然環境・生活環境」について	【配布資料】 【大判地図】	50分
3. グループ別発表		20:10
・ 村の現状と今後の村づくりについて		8分×5グループ
4. その他		20:55
・ 次回日程ほか		5分
5. 閉 会		21:00

『今日のテーマ（目的）』

今日のテーマは、「自然環境」と「生活環境」です。

『自然環境を大切に守っていくために必要な取り組み及び問題点』

「原村の良いところ、魅力」として最も多いのが、ハケ岳山麓の自然環境です。このハケ岳山麓の豊かな自然環境や景観は、村の財産であり、人を惹きつける要素の一つです。

この大切な財産を守り、次の世代へ継いでいくため、どんな課題があるのか？その改善にどんな取り組みが必要なのか？

『移住・定住するために必要な生活環境づくり及び問題点』

「原村に住み続ける」「原村に移り住んでもらう」ために、住みよい生活環境や安心・安全な生活環境が必要と考えます。

そのために、どんな課題があり、どんな取り組みが必要なのか？

このテーマ（分野）で、第5次総合計画に盛り込むべき取り組み「重点プロジェクト」を皆さんと考えます。